



在福岡タイ王国総領事館ニュースレター

タイの鼓動

Vol 7 Oct 2026

In Focus

「チュットアイ・プララーチャニヨム」
サイアムの誇り ユネスコ無形文化遺産へ



在福岡タイ王国総領事館

〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-37 第1明星ビル2階



fukuoka.thaiembassy.org



092-739-9088



[RTCGFukuoka](https://www.facebook.com/RTCGFukuoka)



[@ThailandFukuoka](https://twitter.com/ThailandFukuoka)



[thaifest.fukuoka](https://www.instagram.com/thaifest.fukuoka)



タイの鼓動

CONTENTS 目次

- P1 タイの最新動向
- P3 在福岡タイ王国総領事館の活動報告
- P6 タイ関連イベント情報
- P7 In Focus
「チュットタイ・プララーチャニヨム」
サイアムの誇り ユネスコ無形文化遺産へ
- P8 タイの暮らしと文化



編集長からのごあいさつ

読者の皆様、こんにちは。秋から冬へと季節が移り変わる中、「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会」の閉幕とともに、本号をお届けします。

タイにおいて、10月 is 新たなスタートの月です。特に政府機関にとっては10月から翌年9月の会計年度の年度初めにあたり、この時期に政府要職の官僚ポストの入れ替わりや人事異動も行われます。また、多くの政府機関で新たな政策・方針や新規事業などが新年度のこの時期に打ち出されます。4月に国会で施政方針を表明してから6か月目を迎えたアヌティン・チャーンウィーラクーン内閣もまた、新たな規則の発表や政策実施の動きが一層活発になっています。

本号の「タイの鼓動」では、タイ外務大臣による日経フォーラム第31回「アジアの未来」での外交政策の発表、タイでのIMF・世界銀行年次総会開催に向けた準備、日本を含む外国人観光客を対象としたビザ免除措置による滞在期間の60日から30日への短縮、タイ国内で違法行為を行った外国人の国外退去に関する規則の改定、タイからの大麻の不正輸出を防ぐための規制強化、日タイ間の労働分野での新たなMOU締結に加え、さまざまな取り組みの成果として、タイが退職後の移住先国ランキングで高い評価を受けたことや、SDGsの達成状況において8年連続で東南アジア第1位となったことなど、各分野でのタイの重要な動きをご紹介します。

日本、そして国際情勢につきまして、在福岡タイ王国総領事館は、7月28日に熊本県で発生した大規模地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧・復興に向けて尽力される皆様に対し、心からの応援の気持ちをお送りします。一方、200日を超えて続く米国とイランをめぐる対立により、原油や石油化学製品の価格が大幅に上昇するなど、国際情勢は依然として不安定な状況が続いています。各方面において、特にエネルギー関連コストへの影響を踏まえた対応が求められています。

タイの会計年度の最終四半期にあたるこの時期、当総領事館では、管轄地域である九州・中国地方・沖縄の日本側関係機関との連携を一層強化し、特に経済分野での協力を積極的に進めて参りました。「チーム・タイランド福岡」では、広島・中国地方で10年以上ぶりとなるタイへの投資促進セミナーや、九州初となるタイの化粧品・ライフスタイル商品の販売促進イベントを実施しました。スポーツ分野でも交流が活発に行われ、9月初旬には、タイ男子バレーボール代表チームが北九州市で、女子代表チーム（2026年アジア選手権優勝チーム）も佐賀県鳥栖市でそれぞれ「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会」の事前合宿を行いました。その後、両チームは名古屋へ移動し「愛知・名古屋 2026 アジア競技大会」に出場しました。こうした当総領事館の取り組みについても、本号で詳しくご紹介しています。

来年、2027年は、タイと日本の外交関係樹立140周年を迎える記念すべき年でもあります。この節目を祝うため、両国ではさまざまな記念事業が予定されています。当総領事館と連携した140周年記念活動の実施をご検討の方は、ぜひ thaiconsulate.fuk@mfa.go.th までご連絡ください。それでは、2027年の迎春号「タイの鼓動」でまたお会いしましょう。

次号まで、皆様どうぞお健やかにお過ごしください。





大麻の国外密輸へ警鐘 罰則強化へ



6月17日より、タイ税関局は大麻のタイ国外への違法な持ち出し行為に対する罰則を強化しました。摘発された大麻は押収され、その量に応じて1kgあたり3万バーツの罰金が科されます。また税関手続きを経ずに大麻を国外へ持ち出しを行った場合、10年以下の拘禁刑、もしくは当該物品の末端価格の4倍相当の罰金またはその両方が科されます。

本罰則の強化は、多くの国が大麻を違法薬物として厳罰に処すなか、違反行為の抑制に加え、タイが密輸の集積拠点や国際的な輸送ルートとして利用されることを抑止するために講じられたものです。

タイ、退職後の移住先 ランキングでアジア首位



米国「インターナショナル・リビング」誌による退職後に暮らしたい国ランキング（グローバル・リタイアメント指数2026年版）で、タイはアジア圏で第1位、世界第9位となりました。

このランキングは、退職後の移住先として適した国を①住宅②退職者向けのビザや優遇措置③生活費④開発とガバナンス⑤気候⑥医療制度⑦暮らしやすさの7項目で評価したものです。

タイは生活費の項目で高い評価を得ており、生活費を抑えながら質の高い暮らしを実現できることが示されました。また、「医療制度」の面でも、国際的に認められた医療水準が高い評価を受けました。



今回の結果は、タイを世界的な「医療とウェルネスのハブ」へと発展させることを目指すタイ政府の政策の方向性とも合致するものです。タイ政府は医療サービスの質の向上やインフラ整備をさらに推進し、今後もタイを退職後の移住先として世界に発信するとともに、外国人退職者の受け入れるための環境整備を進めていく方針です。

タイ「持続可能な開発報告書2026」 SDGs進捗状況 8年連続でASEAN首位

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS (SDGS)
INDEX
2026
FOR ASEAN



World Rank	Country	Score
43	Thailand	75.4
58	Vietnam	73.8
59	Singapore	73.8
74	Indonesia	70.8
76	Malaysia	70.4
80	Philippines	69.9
87	Brunei	68.9
102	Timor-Leste	66.2
108	Cambodia	65.3
122	Laos	62.5
123	Myanmar	62.4

国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN）」は、世界各国の持続可能な開発目標（SDGs）の達成状況を評価した「持続可能な開発報告書2026」を公表、今年の対象国169カ国中、タイは世界43位、8年連続でASEAN首位となりました。

SDGsの17の目標に基づく評価結果では、タイは2つの目標「SDGs目標1：貧困をなくそう」と「SDGs目標4：質の高い教育をみんなに」を達成するとともに、17の目標ごとに評価されたSDGs達成状況について「深刻な課題がある（赤色）」とされた目標の数も減少しました。





タイ、日本と育成就労制度に関する初の協力覚書を締結

2026年6月2日、タイ政府は日本政府との間で技能実習制度に替わる育成就労制度に関する協力覚書を締結しました。本制度については、タイは日本と協力覚書の締結を行った最初の国となりました。

新制度のもと、日本と送出国が覚書に基づいて協力し、外国人労働者の送出しと受け入れを適正に行う仕組みが整えられます。これにより、悪質な仲介業者による不当な手数料の徴収などを防ぎ、育成・就労する外国人を保護するとともに、同制度の適正な運用を図ることが目的としています。

タイ王国の間では、既に技能実習制度に関する協力覚書を作成しているところ、技能実習制度に替わり育成就労制度が運用開始されることに伴い、本覚書を作成したものです。

「ワット・プラ・マハタート・ウォーラマハーウィハーン」が世界遺産に登録



2026年7月25日、大韓民国・釜山で開催された第48回世界遺産委員会において、タイ南部ナコーン・シータマラート県の「ワット・プラ・マハタート・ウォーラマハーウィハーン」が、タイ国内で9件目となる世界遺産に登録されました。

同寺院は、1,500年以上にわたり、仏教への信仰や宗教行事、芸術の伝統が受け継がれてきたことから、人類全体にとって重要な価値を持つと評価されました。

タイ政府は今後も、同寺院が「生きた遺産 (Living Heritage)」として、宗教的伝統や信仰と地域住民の生活との共存を推進していく方針を示しました。

タイのビザ免除措置の基準改定、外国人の国外退去の規則改定も

9月15日以降、タイ内務省は、タイへ一時的に入国する外国人（観光目的）に対するビザ免除措置の改定を発表しました。これまで、93か国からの観光客に対し、ビザなしで最長60日間のタイ滞在を許可していたものから、滞在日数が短縮されます。新たな措置において、日本人はビザなしでの観光目的での滞在可能な期間は30日間となります。

外国人が30日間を超えてタイ国内で観光目的の滞在を希望する場合は、以下のE-VISA公式ウェブサイトよりe-VISAの申請が可能です。



◎タイ外務省E-VISA公式ウェブサイト
www.thaievisa.go.th

また、新たな措置の対象となる国・地域の一覧については、下記のサイトより確認することができます。



◎タイのビザ免除制度およびオンラインビザ制度の改定について
fukuoka.thaiembassy.org/jp/content/ac0526



タイ、CPTPP加盟を再検討へ

タイのシーハサック副首相兼外相は、日本など12カ国で構成される「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定 (CPTPP)」への加盟について、再検討を始める意向を示しました。

米国のトランプ政権による相互関税など、保護主義的な動きの拡大を踏まえ、「従来の多国間貿易システムだけに頼ることはできず、地域自由貿易協定の重要性はさらに高まる」との見解を示しました。その上で、「自由貿易を拡大するためにも、CPTPPへの加盟を再検討する必要がある」と強調しました。

なお、シーハサック副首相兼外相は、中国のCPTPPへの加盟について「中国の加盟は加盟国にとって有益である」と言及しました。タイは現在、欧州連合 (EU) との自由貿易協定 (FTA) について、2026年中の交渉締結を目指し、最終段階の交渉を進めています。



IMF・世界銀行グループ2026年年次総会、10月にバンコクで開催

タイは、国際通貨基金 (IMF) ・世界銀行グループ年次総会の開催に向け、準備を本格化させています。

IMF ・世界銀行グループ年次総会は、10月12日から18日まで、バンコクのクイーン・シリキット・ナショナル・コンベンション・センターで開催され、190を超える国から、財務大臣、中央銀行総裁、企業経営者ら1万5000人以上が参加予定です。

タイは、この機会を通じて、タイ経済の強靱性や柔軟性、金融・投資の地域拠点としての役割に加え、大規模な国際会議を開催する能力を示すことを目指しています。

このたびの上記の変更は国内の安全保障の強化を目的とするものです。また、8月28日にはタイ国内で違法行為を行った外国人の国外退去に関する新たな規則も施行されました。この規則は、以下の違反事由に該当する外国人の国外退去に関わる関係機関間の連携体制を整備することを目的としています。

- (1) タイ国内での不法滞在
- (2) タイ国内での不法就労
- (3) 外国人事業法に違反して、タイ国内で事業を行うこと
- (4) 公文書の偽造または偽造された公文書の使用
- (5) 6年以上の拘禁刑が科される犯罪を犯すこと
- (6) 上記の違反行為の実行者、他人に指示し行わせた者、協力者

在福岡タイ王国総領事館の活動報告



地方議会・行政機関との相互交流

九州・沖縄および中国地方の各界から パチャラキティヤパー王女殿下への哀悼の意

2026年6月12日に、ワチラロンコン国王陛下の長女であられるパチャラキティヤパー王女殿下が47歳でご薨去されたことを受け、在福岡タイ王国総領事館は6月15日から26日までの期間、弔問記帳所を設置しました。

期間中、九州・沖縄および中国地方の各界要人の皆様をはじめ、域内の官公庁、民間企業、各種団体、在福外国機関の方々、ならびに同地域に在住するタイ人および日本人の皆様がご来館いただき、ご記帳いただいたほか、多数の哀悼の書簡をお寄せいただきました。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。



熊本地震の被災地へ、 タイ王国からの励ましのメッセージ

2026年7月28日、熊本県宇土市を震源とする大規模地震により人命・財産に甚大な被害が生じたことを受け、タイ王国は、被災された皆様に対しお見舞いと励ましの意を表しました。8月3日には、ワチラロンコン国王陛下より天皇陛下宛てにお見舞いのメッセージが送られました。また、7月29日には、アヌティン首相とシーハサック副首相兼外務大臣はタイ政府と国民を代表し、それぞれ高市首相と茂木外務大臣宛てにお見舞いのメッセージを送り、この困難に際し、日本国民の皆様への励ましと連帯の意を表明しました。

さらに、同29日には、ゴーソン総領事からも木村敬熊本県知事宛てにお見舞いと励ましの意を込めた書簡を送りました。これに対し、木村知事より、この御心遣いを力に変えるとともに、ぜひ復興後の熊本にお越しいただきたい旨の丁寧なお礼状を頂戴しました。



経済分野の交流・先進事例の共有

チーム・タイランド福岡 広島県で投資セミナーを開催

2026年8月27日、チーム・タイランド福岡は、タイ投資委員会（BOI）大阪事務所を中心に在福岡タイ王国総領事館とともに、広島県・JETRO（日本貿易振興機構）・広島タイ交流協会と連携し、広島市のシェラトングランドホテル広島にて投資促進セミナーを開催しました。

同セミナーでは、タイの投資奨励政策や投資機会を紹介し、広島県および近隣地域の企業関係者50名以上が参加しました。



総領事、タイへの投資・事業展開を 検討する日本企業と面談

2026年7月から9月にかけて、ゴーソン総領事は、タイへの投資や事業展開を検討する日本企業と面談を行い、助言しました。今回面談したのは、コインランドリー事業を展開するWASHハウス株式会社、福岡県を拠点に建物のシロアリ・害虫防除などを手掛ける株式会社サニックス、化粧品やシャンプー、オーガニックヘアケア製品を製造する株式会社オーラテックなどです。

また、面談には案件に応じてチームタイランド福岡の関係機関も参加しました。複数の面談は、JETRO九州や福岡商工会議所など、日本側の関係機関からの紹介や調整を通じて実現しました。



在福岡タイ王国総領事館の活動報告



経済分野の交流・先進事例の共有

「チーム・タイランド福岡」、六本松421にて九州初の『Thailand Beauty & Lifestyle Fest.』を開催

2026年7月17日、ゴーソン総領事とチーム・タイランド福岡は、九州市場への新たなタイ商品の紹介を目的に、福岡市の商業施設「六本松421」で九州初開催された「The Select 2026 Thailand Beauty & Lifestyle Fest.」を視察しました。会場では、タイコスメ、コーヒー、クラフトビール、ワイン、オーガニック食品、農産加工品、ファッション商品など、多彩なタイ商品が紹介されました。

視察にあたり、総領事とチーム・タイランド福岡一行はタイ商品の販売業者や商業施設の運営者らと面談し、今後の協力拡大に向けて意見交換を行いました。



社会・文化・教育分野の交流

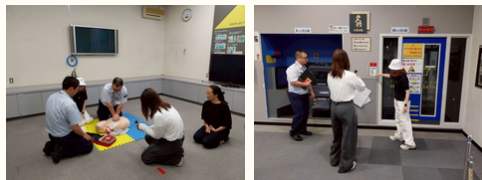
業務スーパーでタイ食品の販売促進「タイフェア2026」を実施



2026年7月の一ヶ月間を通して、チーム・タイランド福岡は、タイ国政府貿易センター大阪を中心に、株式会社神戸物産と連携し、タイ食品の販売促進を目的とした「タイフェア2026」を実施しました。

同フェアでは、加工食品、調理用食品、レトルト・即席食品、加工果実、スナックなど、多彩なタイ商品を販売・PRしました。日本全国の「業務スーパー」と「エブリイ」計1,150店舗で展開され、このうち、九州・中国・沖縄地域では245店舗が対象となりました。

日本の防災対策から学ぶ災害対応に関する学習コンテンツ



総領事館は、タイ人の防災意識や災害への備えを高め、人命や財産への被害の軽減につなげることを目的に福岡市民防災センターの協力を得て、同センターでの災害模擬体験を通じた防災学習動画を制作しました。

ご興味のある方は、下記のYouTubeチャンネル「Point of View」からご覧いただけます。

 Point of View
www.youtube.com/PointofView

総領事館、シリラート病院医学部と連携 日本の高齢社会に関する優良事例をタイ北部で展開



2026年8月17日から19日にかけて、ゴーソン総領事は、マヒドン大学シリラート病院医学部と連携し、「福岡100/ピチット100」の学びを発展させるプロジェクトをチェンライ県で実施しました。

本プロジェクトでは、高齢者を支えるエコシステムの構築に関する日本の優良事例を学び、タイにおける活用・展開につなげることを目的としています。



総領事、APU「タイ・ウィーク 2026」に参加

2026年7月3日、ゴーソン総領事は、大分県別府市の立命館アジア太平洋大学（APU）を訪問し、「マルチカルチュラル・ウィーク」の一環として開催された「タイ・ウィーク 2026」の主要プログラムであるタイ人学生による舞台劇「Phop Thoe」を鑑賞し、学生たちを激励しました。同演目では、タイの伝統衣装、舞踊、音楽に加え、現代的なパフォーマンスを融合させ、タイの芸術・文化の魅力を日本人や各国からの観客に広く紹介しました。

在福岡タイ王国総領事館の活動報告



社会・文化・教育分野の交流

総領事、「ブリッジ サマーキャンプ 2026」に参加のタイの青少年を激励

2026年7月18日、ゴーソン総領事夫妻は、福岡市の照葉積水ハウスアリーナを訪れ、アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）が主催する「ブリッジ サマーキャンプ 2026」に参加したタイの青少年6名を激励しました。

同キャンプは、7月10日から21日まで開催され、アジア太平洋地域の各国から参加した青少年が文化交流や日本人家庭でのホームステイを通じて、互いの文化への理解を深めました。



ARTS AND CULTURE PRIZE

2026年
芸術・文化賞

Thai Dancer,
Choreographer
Pichet KLUNCHUN

タイ舞踊家・振付家／ピチェ・クランチェン

総領事館、福岡アジア文化賞2026を受賞したタイ人舞踊家ピチェ・クランチェン氏を祝福

2026年9月14日、ゴーソン総領事夫妻は、「第36回福岡アジア文化賞」授賞式に出席しました。今年は、タイの現代舞踊家・振付家であるピチェ・クランチェン氏が「芸術・文化賞」、

東南アジア研究を専門とするフィリピン／日本の研究者キャロライン・シー・ハウ氏が「学術研究賞」、シンガポールの映像作家ホー・ツーニエン氏が「大賞」を受賞しました。

ピチェ・クランチェン氏は、福岡アジア文化賞を受賞した11人目のタイ人であり、「芸術・文化賞」では、タウン・ダッチャニー氏（2011年）、アピチャッポン・ウィーラセタクン氏（2013年）、プラープダー・ユン氏（2021年）に続く4人目のタイ人受賞者となりました。

タイ男女バレーボール代表、ユース選手・指導者が九州で大会・合宿に参加

ゴーソン総領事は、九州在住のタイ人コミュニティとともに、2026年9月4日から13日まで福岡県北九州市で開催された「買取大吉 アジア男子バレーボール選手権大会 福岡2026」に出場したタイ男子バレーボール代表チームを応援しました。

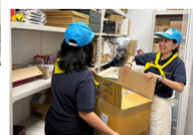
また、総領事はタイ人コミュニティとともに、同時期間に佐賀県で強化合宿を行ったタイ女子バレーボール代表チームを訪問し、選手たちを激励しました。合宿期間中には、SAGA久光スプリングスとの親善試合も行われました。

タイ男子・女子バレーボール代表の両チームは、2026年9月19日から10月4日まで開催される「第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）」に出場する予定です。

さらに、当総領事館は、2026年9月4日から11日まで福岡県内で行われた「Domestic Power International Volleyball Training Camp」に参加した男子ユースバレーボール選手および指導者一行を歓迎するとともに、同キャンプの活動にも参加しました。



ボランティア活動



2026年7月26日、国王陛下の御誕生日を記念し、福岡市の大濠公園にて、ごみ拾いや園内清掃などのボランティア活動を実施しました。



2026年8月12日、タイの「母の日」にちなみ、来館者へのサービス向上を目的として、在福岡タイ王国総領事館の倉庫内の整理・清掃を行うボランティア活動を実施しました。



タイ関連イベント情報

「タイフェスティバル大分 2026」

～微笑みの国の魅力を体感！大分でタイ文化を楽しもう～

開催期間: 2026年10月3日(土)～4日(日)

会場: トヨタカローラ大分 祝祭の広場

主催: NPO法人大分県日タイ友好協会

公式サイト: www.instagram.com/thaifestivaloita



「タイの豊かな文化を体感できる「タイフェスティバル大分 2026」が今年も開催されます！会場では、本場のタイ料理の屋台や伝統舞踊、ムエタイなどのステージに加え、タイ国政府観光庁（TAT）福岡事務所によるPRブースも登場します。最新の観光情報や楽しい参加型企画も用意されており、大分にいながらタイの活気と魅力を存分に体感できる2日間です。ぜひお越しください！

「タイフェスティバル IN SAGA シリーズ10」

～佐賀とタイ、10年目の架け橋。心躍る文化の祝祭～

開催期間: 2026年10月17日(土)～18日(日)

会場: ころざしのもり・佐賀城公園南濠（佐賀市内）

主催: 佐賀県

公式サイト: www.instagram.com/thaifestival_saga/



佐賀県とタイの交流イベントが、今年で第10回目の節目を迎えます。本場のタイ料理やタイの伝統文化を紹介するステージプログラムに加え、タイ国政府観光庁（TAT）福岡事務所のPRブースも出展します。タイ各地の観光情報の案内や参加型企画を通して、10周年を機に、これまで育まれてきた友好の輪をさらに広げます。佐賀にいながらタイの新たな魅力を再発見できるこの機会に、ぜひ足をお運びください。

総領事館シェフの料理と九州とタイを結ぶ美酒の旅
在福岡タイ王国総領事館シェフが振る舞う「タイ料理」と、
タイと九州を繋ぐ「美酒」の秘密

開催期間: 2026年11月7日(土) 17:30～19:00

会場: 岩田屋本店 本館7階「文喫 福岡天神」



在福岡タイ王国総領事公邸の料理人（シェフ）と焼酎プロデューサーの黒瀬暢子氏が講師を務め、タイ料理の魅力九州・沖縄の酒文化を深掘りする講座が開催されます。

総領事公邸で賓客を迎える舞台上で活躍するシェフが、本場のタイ料理を実演します。また、焼酎プロデューサーの黒瀬氏が、九州・沖縄とタイの酒文化における歴史的繋がりについて解説します。さらに、シェフが実演するタイ料理とお酒とのペアリングも楽しむことができます。

METALEX 2026

～ASEAN最大級の工作機械・金属加工関連展示会(40周年記念開催)～

開催期間: 2026年11月18日(水)～21日(土)

会場: バンコク国際貿易展示場（BITEC）（バンコク・タイ）

公式サイト: www.metalex.co.th/



今年で40周年を迎える「METALEX 2026」は、ASEAN最大級の工作機械・金属加工関連展示会です。会場には、世界各国から3,000以上のブランドが集結し、最新の工作機械、金型、FA技術などが一堂に紹介されます。グローバルサプライチェーンにおける競争力強化や、次世代イノベーションに触れる絶好の機会として、ぜひご注目ください。

DIGITECH ASEAN THAILAND 2026

～東南アジアのビジネスとデジタル技術を結ぶIT総合展示会～



開催期間: 2026年11月25日(水)～27日(金)

会場: インパクト・ムアントンターニー
(IMPACT) ホール7-8 (バンコク・タイ)

公式サイト: digitechasean.com/

本イベントは、世界中のテクノロジー&デジタル市場と繋がる、東南アジアの事業者向けIT展示会です。ビジネスソフトウェア、サイバーセキュリティ、AI、データ&クラウド、IoTなど、未来のビジネスを牽引する最新デジタルソリューションが集結します。ASEAN市場における技術革新やグローバルな事業展開を目指す企業にとって、最新情報の収集やビジネス交流、ネットワーキングの機会を提供します。

「チュットアイ・プララーチャニヨム」 サイアムの誇り ユネスコ無形文化遺産へ



タイの生活様式や精神を映し出すタイのアイデンティティを象徴するものとして、「チュットアイ・プララーチャニヨム（王室様式のタイ衣装）」および「プララーチャターン・シャツ」が挙げられます。これらは、シリキット王太后陛下とラーマ9世（プーミポン大王）陛下の深いご英知と先見の明によって形づくられた、タイが誇る独自の文化遺産です。国際舞台においてタイの優雅なアイデンティティを確立し、今日では国民全体の誇りとなっています。

女性用ナショナル・ドレス「チュットアイ・プララーチャニヨム」8つの様式の起源

1960年、シリキット王太后陛下は、当時のラーマ9世国王陛下に随行され、諸外国との外交関係の発展のため米国およびヨーロッパ諸国を御訪問されました。シリキット王太后陛下は、タイの女性を代表する立場として、当時のタイ人女性には国際的に重要な場で着用する正式なナショナル・ドレスが存在していなかったことから、専門家に対して、古来のタイ王室における女性たちの装いと慣習についての研究を行うよう、御下命になりました。その研究成果を現代の縫製技術に応用し、着用しやすく、時代に適したものとする一方で、タイらしい優雅さを調和のとれた形で保つことにより、全8種の「チュットアイ・プララーチャニヨム」が誕生しました。こうして誕生した8種類の衣装は、王宮やドゥシット宮殿内の離宮、重要な建物の名称にちなんで名付けられました。以下のように、着用する場面に応じて8種類の衣装が使い分けられます。



タイ・ルアントン	タイ・チットラダー	タイ・アマリン	タイ・ボロムビマーン	タイ・チャックリー	タイ・ドゥシット	タイ・シワラーイ	タイ・チャックラバット
カジュアルなタイ衣装です。丸襟に七分袖のブラウスで、着心地が良さが特徴です。	日中の式典用の正装です。形はルアントンに似ていますが、襟は立ち襟で手首までの長袖で、絹の巻きスカートを合わせる場合もあります。	王室行事や夜間の重要な式典用の正装です。形状はチットラダーに似ていますが、金糸を織り込んだ豪華な絹地で仕立てられています。	夜間の王室行事や式典用の正装です。立ち襟の長袖に、前面にプリーツを寄せたスカートがつながったワンピース型で、金糸を織り込んだ絹地で仕立てられています。	夜間の式典用の正装です。片方の肩を出し、「サバイ」（帯状の布）を胸から方へ斜めにかけて、下衣には前面にプリーツのある金色の絹の巻きスカートを着用します。	夜間の大礼装（最高位の正装）の一つです。襟ぐりの深い丸首のノースリーブの上衣に金糸やビーズで刺繍を施し、下衣には前面にプリーツを寄せた絹の巻きスカート、あるいは金糸織りの布を合わせて着用します。	昼夜を問わず王室行事で着用される格式高い正装です。形はボロムビマーンに似ていますが、上衣の上から肩に「サバック」と呼ばれる豪華な装飾布を掛ける点が異なります。	女性用のタイ衣装の中で最も豪華かつ格式の高い夜間礼装です。形はチャックリーに似ていますが、上衣は二重構造になっており、下衣は前面にプリーツを寄せた金糸織りの巻きスカートになっています。

シリキット王太后陛下が、一般のタイ人女性がこれらのデザインをモデルとして衣装を仕立てて着用することをご許可されたことにより広く普及し、今日ではタイ人女性のナショナル・ドレスとなっています。

男性用「プララーチャターン・シャツ」



1979年、ラーマ9世国王陛下（プーミポン大王）はタイ人男性のために、一般的に「プララーチャターン・シャツ」として知られる新しい国民的正装を考案されました。上衣は、タイの織物で仕立てられた、立ち襟で5つボタンのシャツです。このシャツを、控えめな色のズボンと合わせて着用することで、タイらしい、優雅でシンプルさを表すことができます。その後1980年には、当時の内閣が、洋服（スーツ）に代わる、タイの気候に適した公務員の正装としてプララーチャターン・シャツを承認しました。

世界へ広がる誇りと、日タイ友好の絆

現在、タイは「チュットアイ」をユネスコ無形文化遺産に申請しており、2026年末に審査が行われる予定です。登録されれば、コーン（仮面劇）、タイマッサージ、ノーラー（伝統舞踊）、ソングラーン（伝統の水掛け祭り）、トムヤムクン、ケバヤ（マレーシア、インドネシア、ブルネイ、シンガポールとの共同申請）に続くタイにとって7件目の登録となります。これに合わせ、在福岡タイ王国総領事館は、2026年12月3日（木）にグランドハイアット福岡にて開催されるタイナショナルデー・レセプションにおいて「チュットアイ展示会」を開催いたします。ご招待客の皆様はタイの貴重な伝統文化に触れていただくとともに、翌2027年に迎える「日タイ修好140周年」という節目に向け、年間を通じて行われる文化交流や要人往来を含む日タイの交流促進につなげてまいります。

タイの暮らしと文化 第7回 総領事の食卓から

BY CHEF SUE

在福岡タイ王国総領事公邸の料理人「シェフ・スー」は、在外公館での経験と料理の腕を買われゴーソン総領事の福岡着任を機に2024年5月に来福しました。大学在学中からバンコクの5つ星ホテルでフルーツカービングの実演担当やバンコクの日本人向けカルチャースクールのタイ料理講師等を経て卒業後は世界各国のタイ王国大使館、総領事館の料理人として20年近く腕をふるってきました。



きのこのトムセープ 「トムセープ・ヘット・ルアム」 (ต้มแซ่บเห็ดรวม)

秋晴れの心地よい季節、「山の宝」とも呼ばれるきのこが旬を迎え、きのこ狩りを楽しむ人も多いのではないのでしょうか。

今号では、秋の味覚であるきのこをたっぷり使った、タイ東北部・イサーン地方のハーブスープの「トムセープ・ヘット・ルアム (ต้มแซ่บเห็ดรวม) =きのこのトムセープ」をご紹介します。

「トム」は「煮る」、「セープ」はイサーン語で「おいしい」という意味。しめじ、フクロタケ、ひらたけなど、香りやくせが穏やかなきのこをたっぷり使った、低カロリーで食物繊維も豊富な一品です。

きのこの旨みに、トムヤムにも使われるタイハーブの爽やかな香りと、ほどよい酸味と辛味が重なり、さらに、お好みで仕上げにカオクア（炒った米を粗く砕いたもの）を加えると、香ばしさとプチプチとした食感が楽しめます。すっきりとしながらも奥深い、イサーン料理ならではの味わいを楽しめます。

季節の変わり目には、身体の芯から温まる「きのこのトムセープ」を、ぜひご家庭でお楽しみください。次回もどうぞお楽しみに！



材料

- きのこ（フクロタケ、ヒラタケ、しめじ） 200g.
- カー（南姜／ガランガル） 輪切り4枚
- レモングラス 1本 ※叩いてからぶつ切りにする
- バイマクルート（コブミカンの葉） 3枚 ※手でちぎる
- ホームデー（エシャロット） 3個
※軽くたたく。なければ赤玉ねぎ 30gで代用可。
- バクチーフалан（ノコギリコリアンダー） 1本
※細かく切る。なければバクチーで代用可。
- 揚げた乾燥唐辛子 4本
- とりがらスープ 2½カップ
※鶏肉、豚肉、野菜など、お好みのスープで可。
- ナンブラー 大さじ2
- ライム汁 大さじ2½ ※なければレモン汁で代用可。
- ブリッキーマー（タイ唐辛子） お好みの量
※軽くつぶす。なければ省略可。
- カオクア（炒った米を粗く砕いたもの） 大さじ1
※なければ省略可。



作り方

- 鍋にとりがらスープ、カー、レモングラス、バイマクルート（コブミカンの葉）、軽くたたいたホームデーを入れて火にかける。沸騰させ、ハーブの香りがしっかりと立つまで煮る。
- きのこをすべて加え、中火できのこがやわらかくなるまで煮る。
- きのこに火が通ったら、すぐに火を止める。ナンブラー、ライム果汁、つぶしたブリッキーマー、揚げた乾燥唐辛子、カオクアを加えて味を調える。
- 最後にバクチーフаланを散らし、全体を軽く混ぜ合わせて器に盛り付けたら完成。



ポイント

- ライム果汁は必ず火を止めてから加えることがポイントです。沸騰した状態で加えると、ライムの爽やかな酸味や香りが損なわれ、苦味やえぐみが出やすくなります。
- えのき、エリンギ、マッシュルームなどのきのこを使ってもおいしく仕上がります。
- きのこ以外にも、鶏肉、もつ、スエアリブなど、お好みの具材にアレンジできます。



タイ文化の 豆知識

今号の料理コラムに続いて、こちらではタイ東北部「イサーン地方」の一地域で受け継がれる伝統文化をご紹介します。イサーンならではの魅力をお楽しみください。

例年6月から7月頃に行われる「ピーターコーン祭り（Phi Ta Khon Festival）」では、地元の人々を中心とする参加者が、奇抜で個性的な仮面と華やかな衣装を身にまとい、精霊に扮して音楽に合わせながら町を踊り歩きます。[1]その独創的な仮面は、竹製の蒸し籠「フワット(หวต)」やココナツの葉柄など、身近にある自然素材や生活用品を用いて作られてきました。

「ピーターコーン祭り」は、タイ東北部にあるルーイ県ダンサーイ市で毎年行われる伝統行事です。この祭りには、仏教説話に由来する伝承があります。お釈迦様は前世で王子だったとされ、その王子が山での修業を終えて都へ戻る際、別れを惜しんだ森の精霊や動物たちまでもが後をついて行列に加わったと伝えられており、これが現在のピーターコーン祭りの由来の一つとされています。

現地の人々にとって、ピーターコーンは単なる楽しい祭りではありません。そこには、地域を守る祖先の霊への信仰、農耕社会における雨乞いや豊作への願い、災いや悪いものを地域から追い払うという考え方など、さまざまな文化や習わしが重なり合っています。

日本では、10月になると、欧米由来の「ハロウィン」が子どもから大人まで幅広い世代に親しまれています。そこで今回は、ハロウィンの季節に合わせて、タイの“精霊のお祭り”であるピーターコーンをご紹介します。日本にも「精霊」や「妖怪」にまつわる祭りや伝統行事がありましたら、ぜひお聞かせください。

『ピーターコーン祭り』に関するタイ語



“ผีตาโขน” (ピーターコーン)

意味：「タイ東北部ルーイ県ダンサーイ市に伝わる伝統的な民俗行事」



“หน้ากาก” (ナーガーク)

意味：「仮面」



“อีสาน” (イサーン)

意味：「タイ東北部／イサーン地方」



“ผี” (ピー)

意味：「霊／おばけ」

“หวต” (フワット)

意味：「蒸し物に使う蒸し器／蒸し籠」



食材などを蒸すために使う道具で、素焼きや竹編みなどで作られます。タイ東北部では、竹で編んだ「フワット」がもち米を蒸す際によく使われ、ピーターコーンの仮面の一部にも活用されています。

※ หวต には動詞では「強く打つ／たたく／むち打つ」などを意味しますが、今回の記事では、蒸し籠を意味する名詞として使われています。

在福岡タイ王国総領事館ニュースレター

タイの鼓動

配信登録申込み（無料）



こちらの二次元コードから
お申込みいただけます。

 バックナンバーはこちら 



過去のニュースレターも
オンラインでご覧いただけます。

